

FAQ・テクニカルガイド

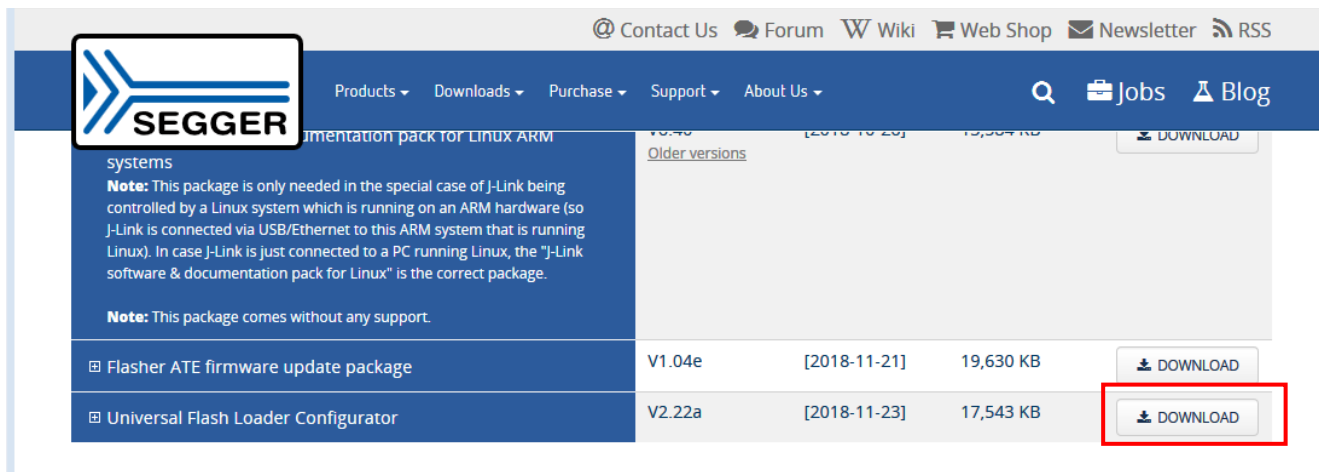
Flasher PRO/Portable PLUS 用 Universal Flashloader ツール

使用方法

1. Universal Flashloader ツール : ダウンロード・インストール

Flasher 本体をパソコンに USB 経由で接続する前に、SEGGER 社の WEB ページ(以下の URL)から最新版の「Universal Flash Loader Configurator」 ツールをダウンロードしてパソコンにインストールしてください。

<https://www.segger.com/downloads/flasher/>



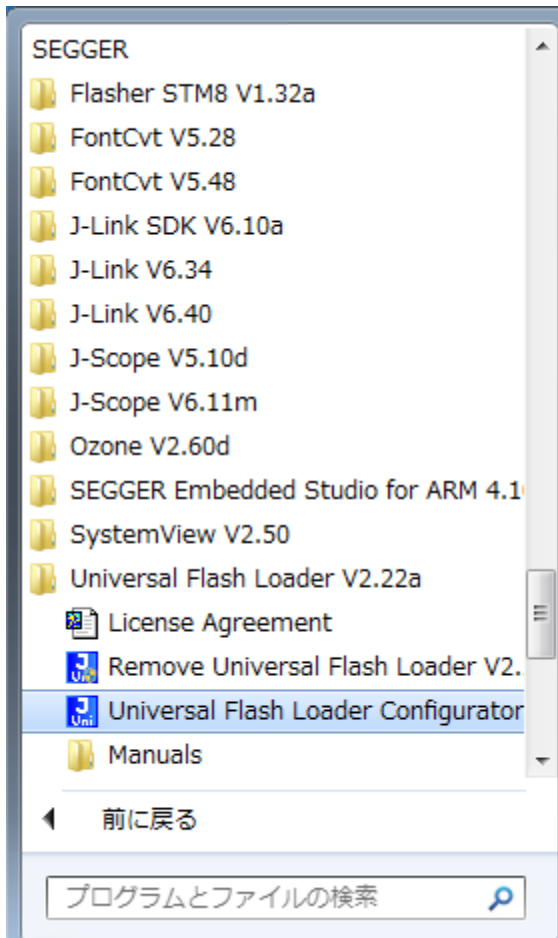
The screenshot shows the SEGGER website's download page. The SEGGER logo is in the top left. The navigation bar includes links for Contact Us, Forum, Wiki, Web Shop, Newsletter, and RSS. Below the navigation bar, there are tabs for Products, Downloads, Purchase, Support, and About Us. The main content area displays a table of download links. The table has columns for version, date, size, and a download button. The 'Universal Flash Loader Configurator' row is highlighted with a red box around its download button.

Product Name	Version	Date	Size	Action
Documentation pack for LINUX ARM systems	V0.40	[2018-10-29]	15,504 KB	DOWNLOAD
Flasher ATE firmware update package	V1.04e	[2018-11-21]	19,630 KB	DOWNLOAD
Universal Flash Loader Configurator	V2.22a	[2018-11-23]	17,543 KB	DOWNLOAD

直接 URL :

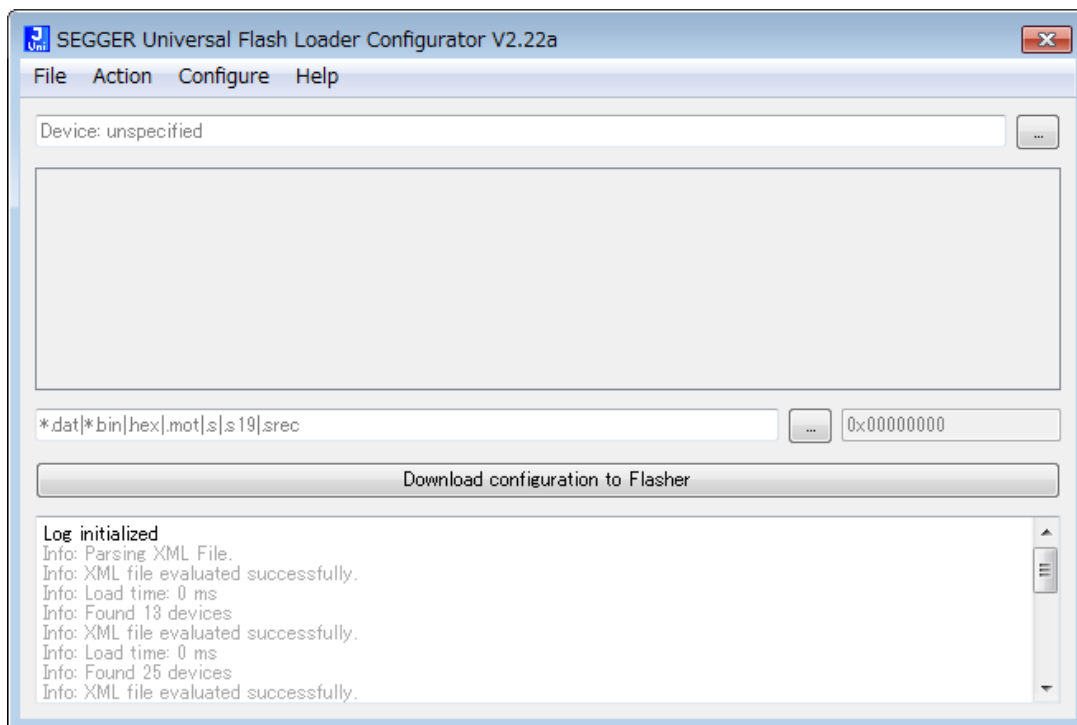
https://www.segger.com/downloads/flasher/UniversalFlashLoader_Windows.exe

インストール後に「Universal Flash Loader Configurator」プログラムは以下のキャプチャのように SEGGER スタートメニューに表示されます。

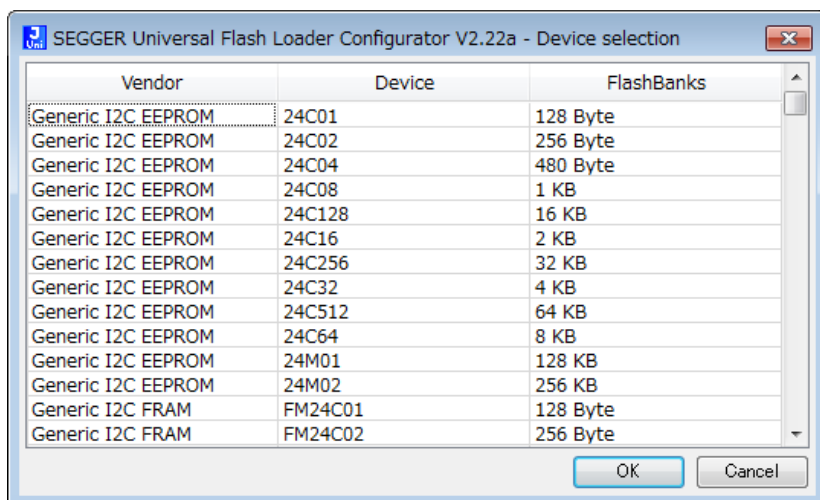
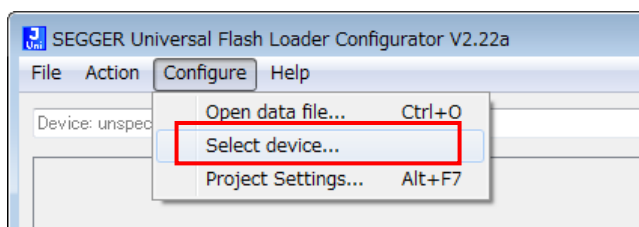


2. プロジェクト作成方法

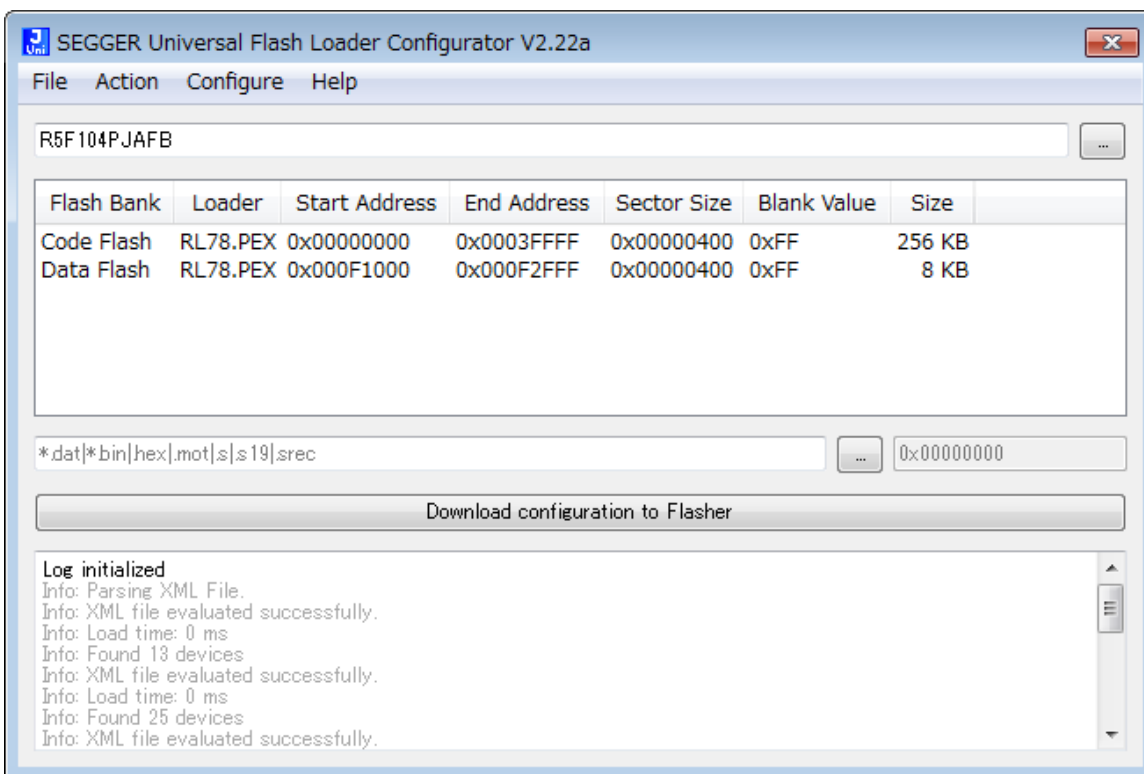
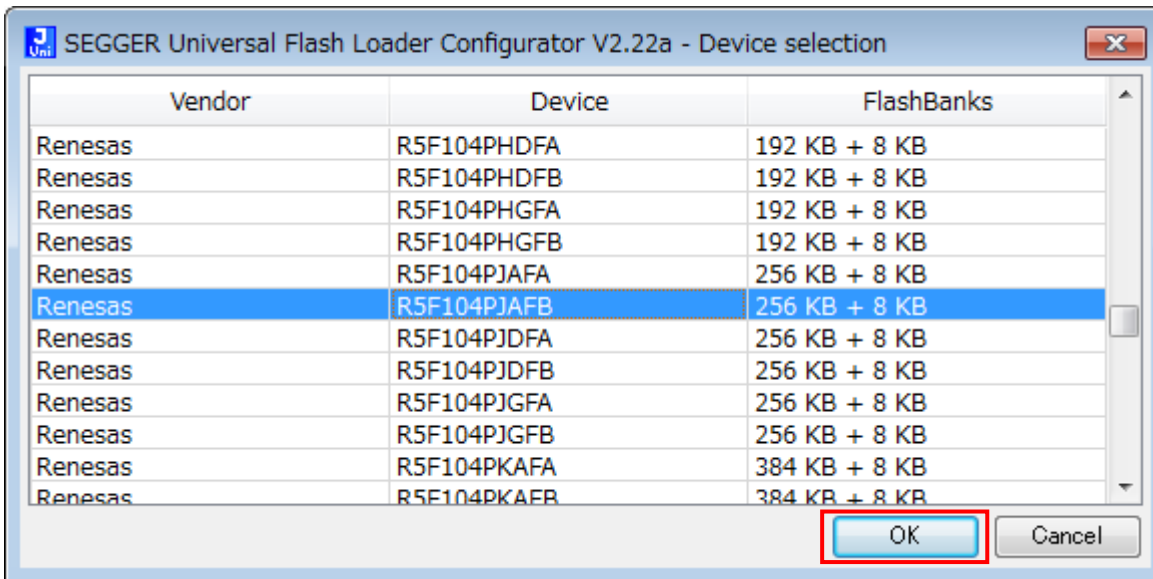
- SEGGER スタートメニューから「Universal Flash Loader Configurator」プログラムを起動します。



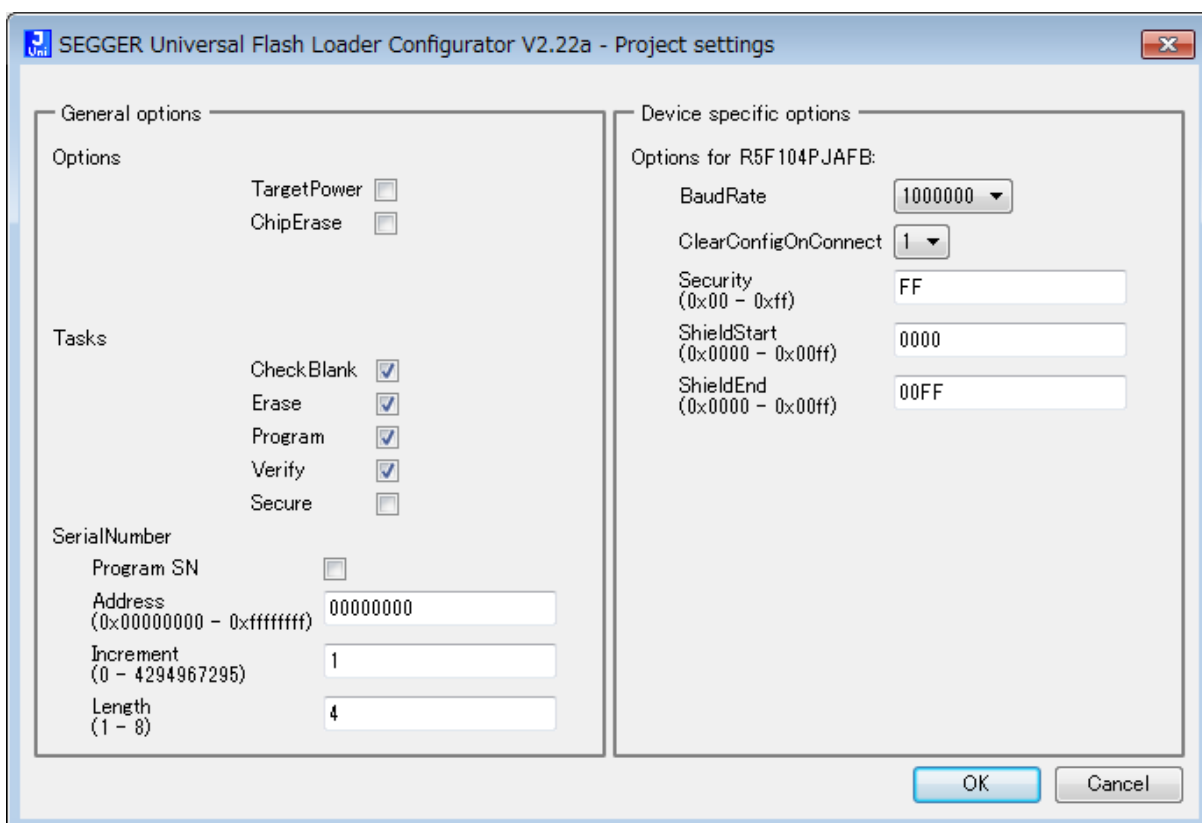
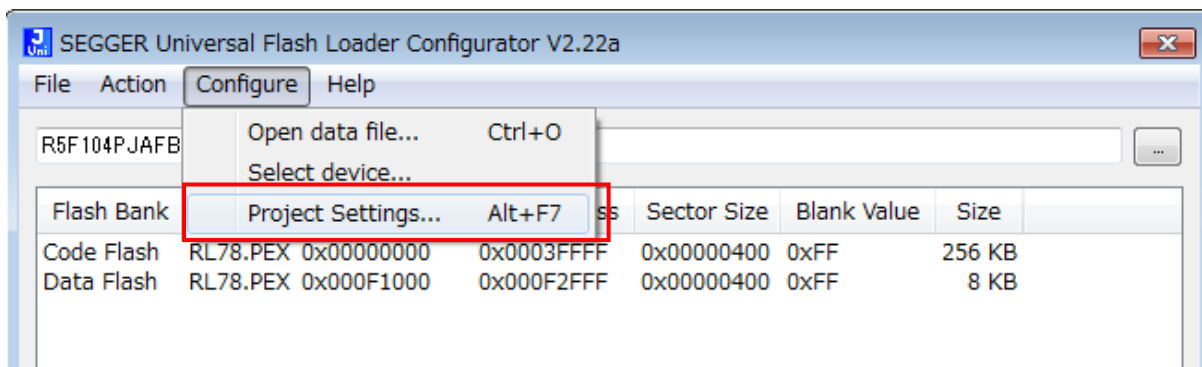
- 「Configure→Select device」メニューコマンドでデバイス選択ダイログを開きます。



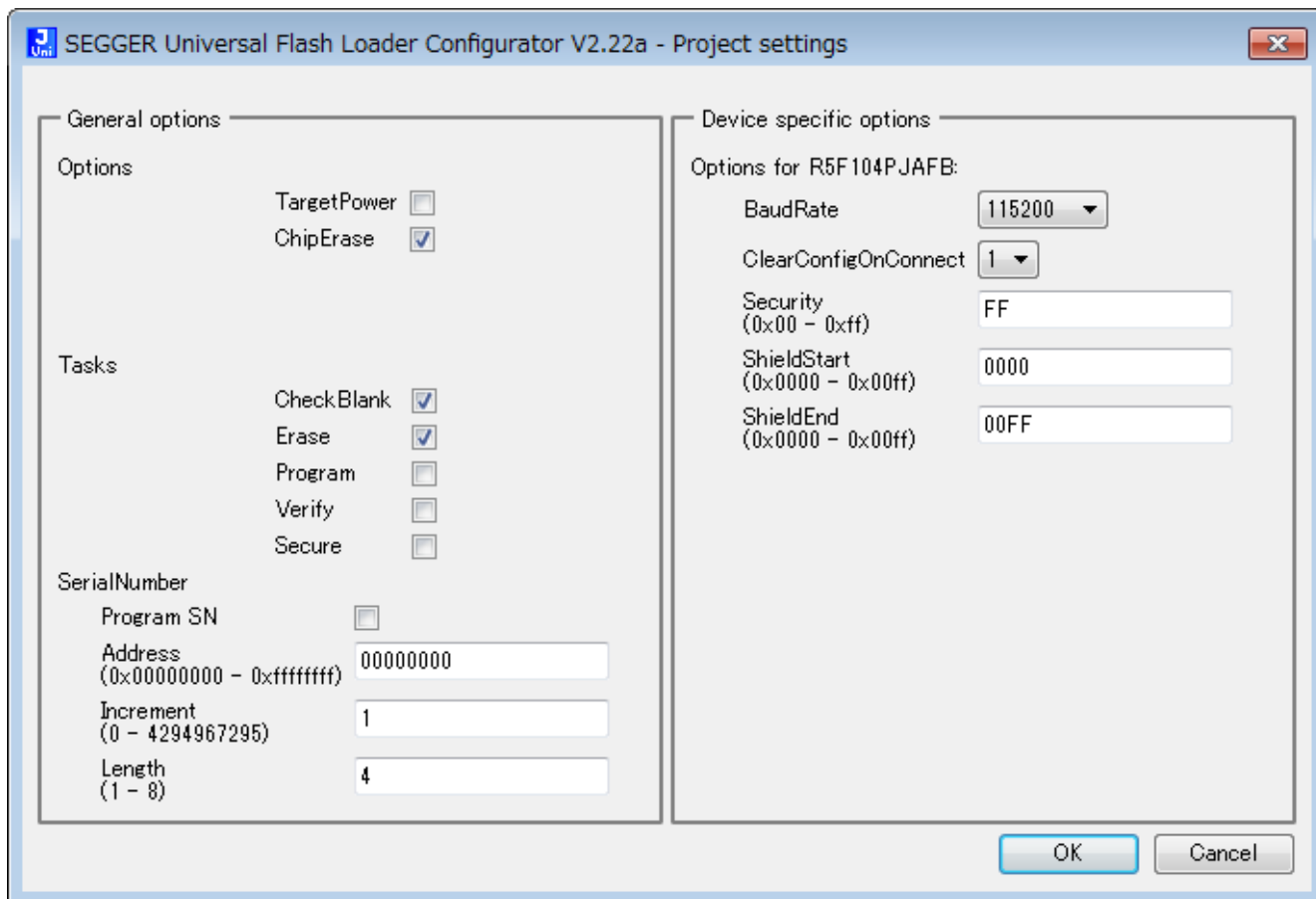
- ターゲットボード上のマイコンデバイスと同じ型番のデバイスをダイログから選択し、「OK」ボタンを押します。以下の事例で「R5F104PJAFB」(RL78/G14)を使用します。



- 「Configure→Project Settings」メニューコマンドでプロジェクト設定ダイログを開きます。



※フラッシュ ERASE のみを行う場合は、以下のように「ChipErase」オプションにチェックを入れて「Program」及び「Verify」項目を無効に設定してプロジェクトを作成してください。



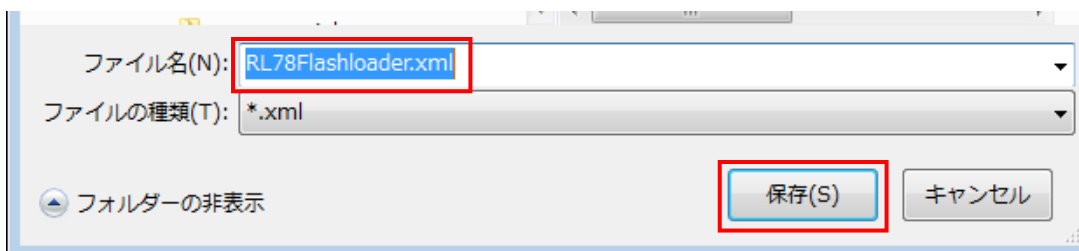
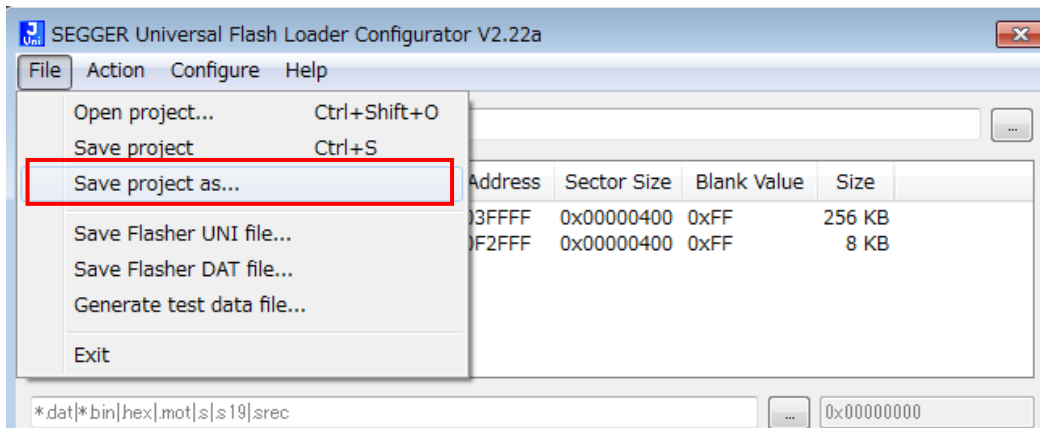
- 一般オプションコマンド

コマンド	説明
ChipErase	Erase コマンドの際にフラッシュデバイスの全てのデータをイレーズします。
Check blank	ターゲットのフラッシュデバイスのブランクチェックを行います。
Erase	フラッシュデバイスのセクターをイレーズ (0xFF データ) します。
Program	データイメージをターゲット上のフラッシュメモリに書き込みます。
Verify	データファイルとフラッシュデバイスのデータをペリファイします。
Secure	ペリファイ後にデバイスをセキュアモードに設定します。

- RL78 デバイス (RL78/G10 以外) 関連オプション設定

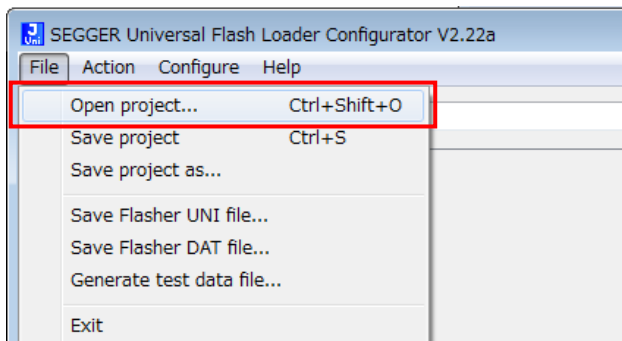
コマンド	説明																
Baudrate	プログラミング用ボーレート (115200、250000、500000、1000000)																
ClearConfigOnConnect	デバイス接続の時にコンフィグレーション設定が保存されている 1st セクターをクリアします。																
Security	セキュリティ関連のコンフィグレーション設定 <table border="1"> <tr> <td>Bit7</td> <td>固定設定 : 1</td> </tr> <tr> <td>Bit6</td> <td>固定設定 : 1</td> </tr> <tr> <td>Bit5</td> <td>固定設定 : 1</td> </tr> <tr> <td>Bit4</td> <td>1 : プログラミングを有効に設定 0 : プログラミングを無効に設定</td> </tr> <tr> <td>Bit3</td> <td>固定設定 : 1</td> </tr> <tr> <td>Bit2</td> <td>1 : ブロックイレーズを有効に設定 0 : ブロックイレーズを無効に設定</td> </tr> <tr> <td>Bit1</td> <td>1 : ブートブロッククラスタの書き換えを有効に設定 0 : ブートブロッククラスタの書き換えを無効に設定</td> </tr> <tr> <td>Bit0</td> <td>固定設定 : 1</td> </tr> </table> <p>※ 「0」 に設定された Bit は 「1」 に設定変更は出来ません。</p>	Bit7	固定設定 : 1	Bit6	固定設定 : 1	Bit5	固定設定 : 1	Bit4	1 : プログラミングを有効に設定 0 : プログラミングを無効に設定	Bit3	固定設定 : 1	Bit2	1 : ブロックイレーズを有効に設定 0 : ブロックイレーズを無効に設定	Bit1	1 : ブートブロッククラスタの書き換えを有効に設定 0 : ブートブロッククラスタの書き換えを無効に設定	Bit0	固定設定 : 1
Bit7	固定設定 : 1																
Bit6	固定設定 : 1																
Bit5	固定設定 : 1																
Bit4	1 : プログラミングを有効に設定 0 : プログラミングを無効に設定																
Bit3	固定設定 : 1																
Bit2	1 : ブロックイレーズを有効に設定 0 : ブロックイレーズを無効に設定																
Bit1	1 : ブートブロッククラスタの書き換えを有効に設定 0 : ブートブロッククラスタの書き換えを無効に設定																
Bit0	固定設定 : 1																
ShieldStart	スタートブロック (フラッシュシールドウィンドウ)																
ShieldEnd	最終ブロック (フラッシュシールドウィンドウ)																

- 「File→Save Project」 又は 「File→Save Project as..」 メニューコマンドでプロジェクト設定を XML 式ファイルとして保存します。

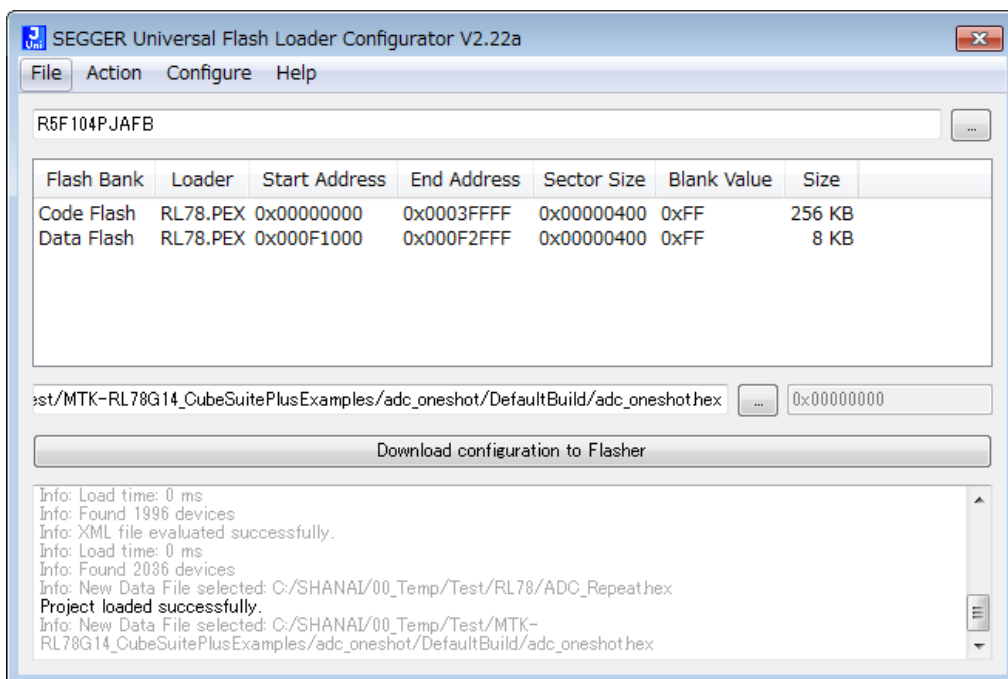
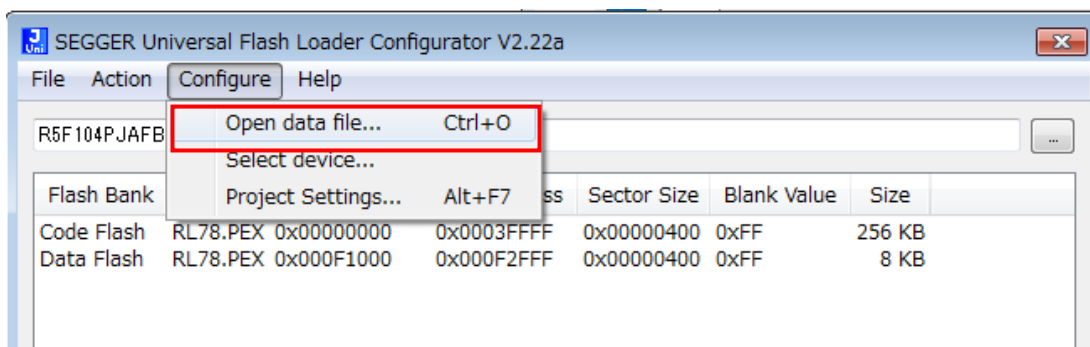


3. フラッシュ書き込み方法（デバイス：RL78）

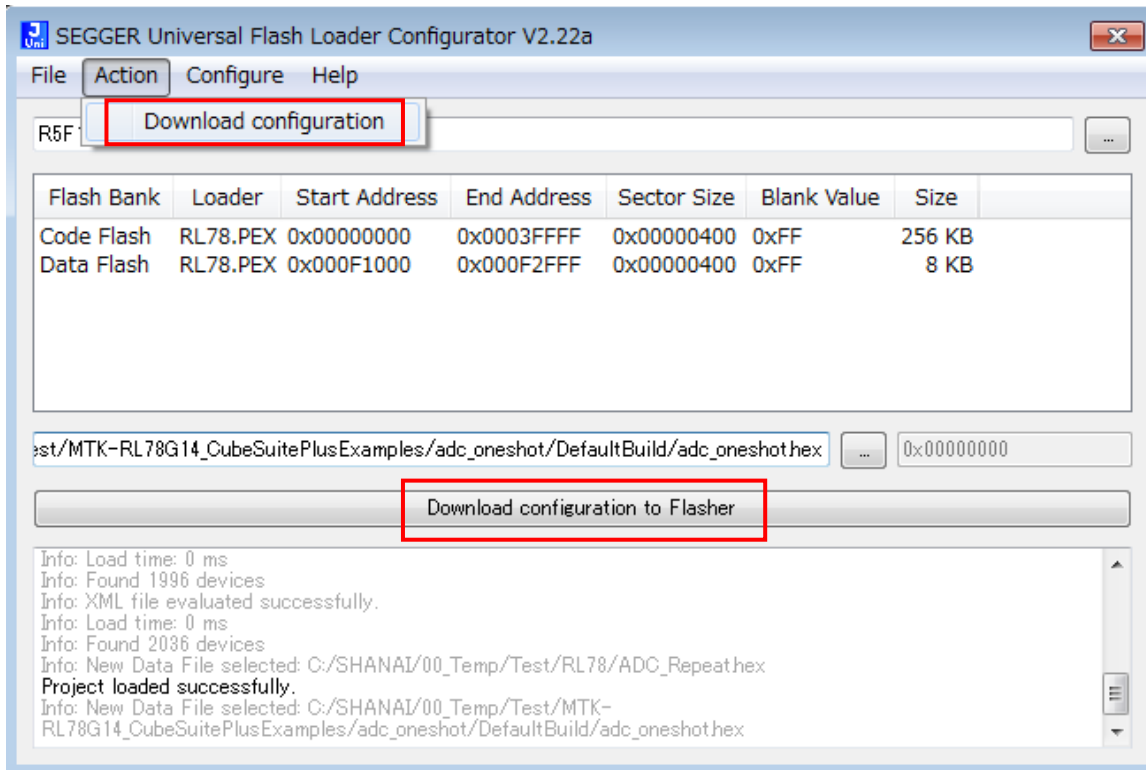
- SEGGER スタートメニューから「Universal Flash Loader Configurator」プログラムを起動し、メニューバーの「File→Open project」コマンドでプロジェクトを開きます。



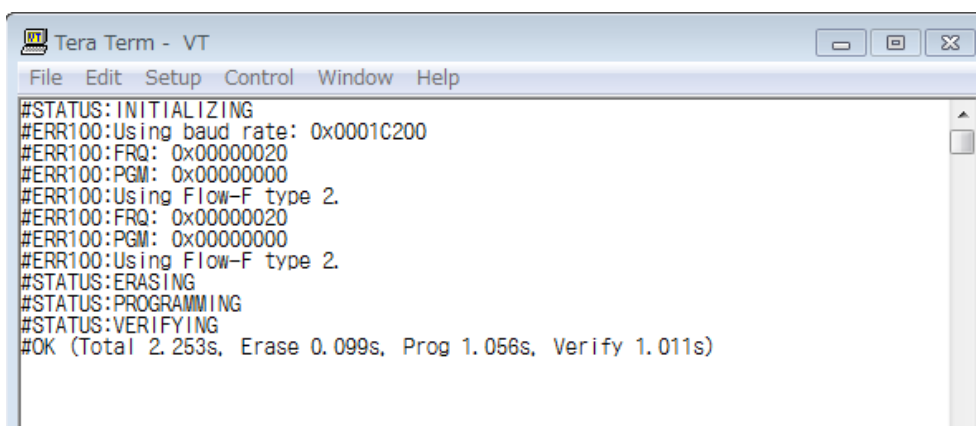
- 「Configure→Open data file」メニューコマンドで書き込むイメージデータファイル（HEX、BIN、MOT、SREC）を選択します。



- Flasher 本体を RL78 ボードのデバッグポート (14Pin) に接続して USB 経由でパソコンに接続します。「Universal Flash Loader Configurator」プログラムの「Download configuration to Flasher」ボタンを押して又は「Action→Download configuration」メニューコマンドで、イメージデータ及びプロジェクト設定を Flasher 本体にダウンロードします。



- Flasher 本体上の Start ボタンを押して RL78 ターゲットデバイスのフラッシュ書き込みを実行します。書き込みの結果は本体上の LED で表示されます (緑 : 書き込み+Verify 成功、赤 : 書き込み失敗又は Verify エラー)。実行中にログを確認したい場合は、Flasher 本体を RS232 ポート又は LAN ポート経由でパソコンに接続して、RS232 シリアル COM ポートコンソール (9600bps/8bit/No-Parity/Stopbit:1/No Flow control) 又は TELNET コンソール上のログ表示で結果を確認します。



※コンソール上のログ内容に「ERR100」が表示されますが、エラーではありません。

株式会社エンビテック

代理店販売（デバッグ、RTOS、GUI、ミドルウェア）

<https://www.embitek.co.jp>

日本代理店

SEGGER Microcontroller GmbH



〒130-0021 東京都墨田区緑 4-8-8 中井ビル 4F
Phone: 03-6240-2655 Fax: 03-6240-2656

本資料に記載の全ての情報の使用に起因する損害、第三者の知的財産権、権利またはその他の経費に対して、SEGGER 社及び株式会社エンビテックは一切責任を負いません。
本資料の内容は予告なく変更されることがあります。

商標

「EmbITeK」、EmbITeK ロゴは株式会社エンビテックの商標または登録商標です。
その他、本資料に記載しているプロセッサ名、ツール名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。